



# こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754  
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶

市議団ホームページ <https://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール [kyousan@city.yachiyo.chiba.jp](mailto:kyousan@city.yachiyo.chiba.jp)



第572号

2022年11月14日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

## 子ども医療費無料化（通院も）など積極的に提案

11月10日に行われた日本共産党の代表質問で、10月から拡充された、「子ども医療費助成制度」について質問を行いました。

多くの保護者から、「市からの通知で18歳までときいてよかった」との声がある一方で、「でも通院や調剤費はまだなんですね」との残念に思う声が、日本共産党市議団に届いています。

18歳まで通院も調剤費も無料とできないのか？そして今後の市の計画はどうなっているのかを質問いたしました。市は「この助成制度を持続可能な制度として維持していく、そのために千葉県の制度の引き上げを要望している。」と答えています。

要するに、千葉県が現在入院は中学3年生まで、通院が小学校3年生までとしているため、その上乗せ部分が市の負担となっています。（市の負担 入院は15歳から18歳まで、通院・調剤費は小学4年生から中学3年生まで）

今回の質問で、市は、「通院・調剤費を18歳まで拡大するのに1億円かかる。」との答弁がありました。しかし、物価高騰対策、福祉対策の面から考えても必要な施策ではないでしょうか？

### □ 県内の実施状況

現在千葉県内では、高校卒業までの医療費助成を拡大している自治体が増えています。54自治体のうち22自治体が行なっています。（37市中11市、17町中11町）銚子市、松戸市、旭市、我孫子市、八街市、印西市、鎌ヶ谷市、匝瑳市、香取市、山武市、いすみ市の11の市が高校卒業まで、入院も通院・調剤費も含めて、子ども医療費助成制度を実施しています。八千代市ができないわけありません。安心して子どもを産み育てることができる八千代市にするためにも子ども医療費助成制度の拡充をこれからも強く求めていきます。

## 学校の給食費無償化に向け提案

来年1月から第3子以降の子どもたちの学校給食費が無料となります。しかし、1人目、2人目のお子さんを持つ保護者からは「2人の学校給食費は年間で11万円前後にもなる。すべての子どもたちの無料化はないのか」との声があります。

日本共産党は、義務教育は無償との憲法の理念からもすべての子どもたちの学校給食費無料化はできないのかと質問を行いました。第3子以降の子どもたち無料化に向けた準備をしているとの答弁しか行わず、また財源もどのくらいかかるかの試算すらしていないことが明るみになりました。

物価高騰、福祉対策、さらには教育費の負担軽減からも早急に行うべき課題であると指摘しました。日本共産党はこれからも市民の暮らし福祉第一の市政へ切り替えていくために全力で頑張ります。

